

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

基本方針

成長する産業分野での拡大と既存事業の維持・拡大を軸に、付加価値・生産性の向上を図り事業構造変革を推進。

② 中長期の経営戦略

- | | |
|---|--|
| 1. SDGs への取り組み
持続可能な開発目標への対応を経営の重要施策として位置付け実行 | 2. 挑戦をリスペクトする組織変革
新しい仕事・やり方に挑戦する組織文化の醸成 |
| 3. "設備技術産業の雄" への挑戦
プラント事業における安定した品質での技術提供と受注拡大 | 4. 新しい事業領域への挑戦
既存事業に加え新規領域への進出を推進 |

③ 対処すべき課題

① 業界の構造的課題への対応

- ・ 人手不足の継続と人件費上昇への対応
- ・ 原材料価格高騰と米国関税施策への懸念
- ・ 建設・保全における DX 活用による省人化・効率化の推進

② 成長機会の獲得

- ・ 脱炭素関連設備投資の拡大に対応
- ・ 半導体関連プラント建設工事の増加への対応
- ・ プラント事業での基盤整備と受注拡大

③ 中長期的な企業価値向上

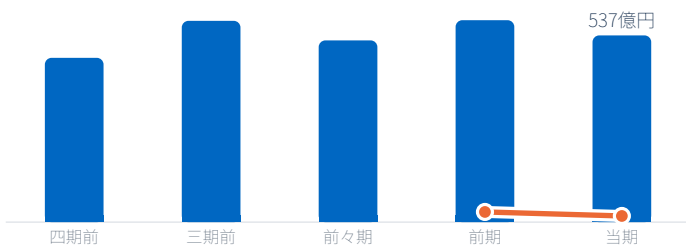
- ・ 全社の業務プロセス改革と経営システム刷新
- ・ EPC キャパシティ向上に向けた新たな設計ツール導入
- ・ 創業 85 周年（令和 7 年 9 月）を節目に選ばれる企業への成長

面接で使えるポイント

- ・ プラント事業において脱炭素関連設備や半導体関連プラント建設工事の増加に対応し、安定した品質での技術提供を目指している点。
- ・ 令和 7 年 3 月に調達した資金を活用し ERP を導入し、調達・工程管理・要員管理等を抜本的に見直して生産性向上を実現する計…
- ・ 創業 85 周年（令和 7 年 9 月）を節目に、一人ひとりが新しい仕事・やり方に挑戦しレベルアップすることで…

証券コード 1966

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに

1948年設立の建設業企業で、北九州市に本社を置いています

主力事業・セグメント

- ・建設業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・将来性評価は晴れ時々曇り

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
537億円営業利益率
3.3%財務健康度
44点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 46.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収

606万円

建設業内 127位/140社

平均年齢

41.5歳

建設業内 102位/140社

平均勤続

16.6年

建設業内 56位/140社

女性管理職

-（未開示）

男性育休

63.3%

建設業内 72位/104社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: (株)高田工業所【1966】：決算情報

